

令和5年度 第1回

地域包括支援に関する会議

資料 7

7 議事

- (1) 「(仮称)第3次北九州市いきいき長寿プラン」の策定
について

第2次北九州市いきいき長寿プランの取組状況・課題（抜粋版）

目標② 高齢者と家族、地域がつながり、支え合うまち

■ 「見守る側」「見守られる側」に分かれるのではなく、誰もが多方面につながりを持ち、それぞれが出来る範囲で支え合い、居場所と役割を持つ地域づくり

施策の方向性1 見守り合い・支え合いの地域づくり

◎ 誰もが地域の一員として、見守り合い、支え合いの出来る地域づくり

基本的な施策1 地域の見守り合いの支援

○ 地域での見守りのネットワークの充実・強化と、誰もが地域の見守りの担い手となるよう啓発

【主な取り組み状況】

- ・生活援助員の派遣 戸数 R4：293戸
- ・いのちをつなぐネットワークの推進
地域会合等への参加 R1：1,530回→R4：1,305回 ↓
- ・あんしん通報システムの設置
設置件数 R1：2,765件→R4：2,544件 ↓
- ・民生委員の活動支援 相談件数 R4：61,012件

基本的な施策2 地域での支え合いの充実

○ 地域の支え合いの大切さや必要性の周知と、協議体や住民主体の支え合いの基盤づくりの支援

【主な取り組み状況】

- ・高齢者の生活支援体制の整備
新たに生活支援の取組を支援した校（地）区数
R3：74校（地）区→R4：95校（地）区 ↑
- ・まちづくり協議会や自治会等を中心とした住民主体の地域づくり
地域づくり活動への参加者の割合 R2：33.9%→R4：29.20% ↓

【課題】

- 地域の人づきあいの希薄化
- 地域活動の担い手不足
- 地域特性を活かした取組の必要性

施策の方向性3 家族介護者への支援

◎ 家族介護者の孤立感をなくし、不安や負担の軽減につながるような支援

基本的な施策1 見守り・支え合いの当事者の増加

○ 様々な悩みを抱える家族介護者を、地域の人が見守り・支え合いの当事者として、必要に応じて専門機関に繋ぐことが出来る社会を目指す

【主な取り組み状況】

- ・[再掲] 民生委員の活動支援 相談件数 R4：61,012件
- ・[再掲] 高齢者の生活支援体制の整備
新たに生活支援の取組を支援した校（地）区数
R3：74校（地）区→R4：95校（地）区 ↑
- ・民生委員、福祉協力員から地域包括支援センターへの相談
R4：2,411件

基本的な施策2 介護者の孤立感の解消

○ 家族介護者の不安・負担軽減のため、相談窓口の多様化と相談体制の強化

【主な取り組み状況】

- ・アウトリーチ型支援（地域包括支援センターによる訪問）の拡充
支援件数 R1：51,283件→R4：47,316件 ↓
- ・[再掲] 地域包括支援センターの運営
相談件数 R1：206,500件→R4：226,059件 ↑

基本的な施策3 家族介護者の生活の支援

○ 介護者の心身負担軽減と事業者の理解促進

【課題】

- 地域とのつながり
（多様な課題（ダブルケア・ヤングケアラー・8050問題等）を抱えた家族介護者に対応したきめ細かな支援の在り方）
- 介護者に対する支援策の啓発強化
（地域包括支援センターが、高齢者自身の事だけでなく、介護者の相談窓口であることの周知や、市民周知・企業啓発等）

目標③ 住みたい場所で安心して暮らせるまち

- 高齢者が、人生の最終段階にいたっても、それぞれの状態に応じて、必要な生活支援、介護などのサービスを活用しながら、住みたい場所で安心して暮らせる

施策の方向性1 地域支援体制（医療と介護の連携等）の強化

◎ 地域包括ケアシステムの構築に向けた体制・環境づくり

基本的な施策1 地域包括支援センターを中心とした相談と支援体制の充実

- 地域包括支援センターの機能強化・相談体制の充実と相談窓口の一層の周知、地域関係者とのネットワークの構築

【主な取り組み状況】

- ・相談体制の充実（地域包括支援センター相談件数）
R 1：211,522 件→R 4：226,059 件 ↑
- ・地域包括支援センターの運営
地域における啓発 R 1：70,036 人→R 4：49,948 人 ↓
相談件数 R 1：211,522 件→R 4：226,059 件 ↑
- ・地域包括支援センターの認知度
一般高齢者 R 1：41.8%→R 4：43.6% ↑
在宅高齢者 R 1：49.8%→R 4：52.8% ↑
若年者 R 1：43.2%→R 4：46.0% ↑
- ・地域ケア会議の開催
開催回数 R 1：318 回→R 4：611 回 ↑
居宅介護支援事業所の事例件数 R 1：94 件→R 4：312 件 ↑

基本的な施策2 地域支援体制（医療・介護の連携等）の強化

- 北九州医療・介護連携プロジェクトの普及・利用や多職種・多機関連携の促進、在宅医療の情報公開や普及啓発などによる、医療と介護が切れ目なく提供される環境づくりと、地域リハビリテーションの推進

【主な取り組み状況】

- ・北九州医療・介護連携プロジェクトの推進
「とびうめ@きたきゅう」登録者数 R 4年度末：36,534 名
- ・とびうめ@きたきゅうの推進
全区の地域包括支援センター及び消防局に「とびうめ@きたきゅう」閲覧用端末を配置

- ・地域リハビリテーション支援拠点の設置 相談件数 R4：430件
- ・かかりつけ医の普及啓発
 かかりつけ医を決めている人の割合（高齢者等実態調査）
 R1（一般：86.2%、在宅：95.4%、若年：59.9%）
 → R4（一般：86.2% →、在宅：95.0% ↓、若年：59.3% ↓）
- ・かかりつけ歯科医の普及啓発
 かかりつけ歯科医を決めている人の割合（高齢者等実態調査：一般）
 R1：79.6% → R4：77.9% ↓
- ・かかりつけ薬剤師等啓発事業
 くすりのセミナーの実施回数 R1：12回→R4：8回 ↓

【課題】

- 地域包括支援センターの更なる機能充実
- 北九州医療・介護連携プロジェクトの更なる推進
- 在宅医療・介護、看取りに関する啓発や現状把握と理解・知識向上

施策の方向性3 権利擁護・虐待の防止・強化

- ◎ 市民や地域及び関係機関等との協同による、高齢者の権利擁護・虐待防止の取り組み

基本的な施策1 高齢者の権利擁護の推進

- 認知症高齢者等が、成年後見制度をより利用しやすく、よりメリットを得られるような制度の実現と、利用環境の段階的・計画的な整備の推進

【主な取り組み状況】

- ・成年後見制度の利用相談や啓発の実施
 相談件数 R1：461件→R4：593件 ↑
- ・成年後見制度利用促進中核機関設置運営事業
 相談件数 R1：36件→R4：77件 ↑
- ・あんしん法律相談の実施 相談件数 R1：119人→R4：120人 ↑
- ・成年後見制度における市民後見人の育成
 養成件数（累計） R1：122人→R4：144人 ↑

基本的な施策2 高齢者の虐待防止対策の強化

- 介護サービス事業者や地域包括支援センター職員への研修による対応能力の向上、関係機関等との連携による虐待防止の取り組みの充実

【主な取り組み状況】

- ・高齢者虐待防止に向けた連携の強化
- ・高齢者虐待対応職員の質の向上 研修開催回数 R4：7回
- ・地域包括支援センターにおける高齢者の権利擁護にかかる業務
- ・[再掲] 自立支援・重度化防止に向けたケアマネジメント

【課題】

- 高齢者の権利擁護の推進
- 高齢者の虐待防止対策の強化

施策の方向性4 安心して生活できる環境づくり

◎ 多様なニーズに沿った、生活課題の解決

基本的な施策1 高齢者に配慮した多様な住まいの普及・確保

- 住宅の改修費助成、すこやか住宅の普及促進、高齢者に配慮した住宅の普及・確保、持ち家処分・住み替え等に関する情報提供や相談支援

【主な取り組み状況】

- ・すこやか住宅の改造助成
助成件数 R1：115件 → R4：79件 ↓
- ・サービス付き高齢者向け住宅の普及
登録戸数 R1：1,455戸 → R3：1,476戸 ↑
- ・高齢者向け優良賃貸住宅の供給支援
入居率 R1：88% → R3：90.1% ↑
- ・空き家における高齢化対応に資する住宅改修の費用補助
助成件数 R1：32件 → R3：108件 ↑
- ・市営住宅におけるバリアフリー化の推進
バリアフリー化率 R1：36% → R3：38% ↑
- ・高齢者の住宅相談の実施
相談件数 R1：131件 → R4：91件 ↓

基本的な施策2 安心して外出できる環境づくり

- 様々な主体の連携による高齢者の移動手段の確保の支援、バリアフリー化・買い物支援の推進

【主な取り組み状況】

- ・シルバーひまわりサービスによる外出支援 利用件数 R4：4,241件

- ・買い物応援ネットワークの推進 派遣回数 R4：30回
- ・歩行空間のバリアフリー化
特定道路のバリアフリー整備延長 R1：93% → R4：98% ↑
- ・バス事業者の車両小型化による路線維持の支援
支援路線数 R3：12路線

基本的な施策3 安全・安心な環境づくり

○ 安全・安心に日常生活を送れるよう、地域における防災対策や防犯対策等を実施

【主な取り組み状況】

- ・「終活」に関する相談と支援 相談件数 R4：116件
- ・あんしん情報セットの普及 配布数 R4：1,269個
- ・福祉避難所の設置
福祉避難所協定施設数 R2：82施設→R4：84施設
- ・高齢者向け交通安全の推進
高齢者交通事故発生件数 R1：1,854件→R4：1,418件 ↓
- ・避難行動要支援者避難支援のための仕組みづくり
避難支援個別計画の作成割合
R1（1月時点）：30.7%→R4：57.7% ↑
- ・高齢者の住宅防火対策の推進
住宅用火災警報器の設置率 R1：85%→R4：87% ↑

【課題】

- 多様な住まいの提供
- 高齢者の移動支援策の充実
- 高齢者向け生活環境づくり